

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらんぼ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日 ～ 令和7年1月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんの年齢に応じたグループでの活動により、小集団での支援と個別の支援ができる。	・年齢に応じた視覚支援（スケジュールや手順書等）の活用及び活動に合わせた環境調整。 ・各個人の課題を集団と個別に分けて設定。	・より個別化した環境調整。
2	・ペアレントトレーニングを用いた保護者支援。	・利用日にペアレントトレーニングを実施。 ・各利用日に保護者交流会の実施。 ・小学生の保護者との保護者交流会を実施し、情報交換の場を設ける。	・保護者交流会の回数と内容の充実。
3	・保護者同伴通園のため、困りごと等の相談に迅速に対応できる。	・定期的に保護者面談を実施。 ・相談等があった場合、迅速に対応できる体制作り。 ・保護者への情報提供を迅速に行う。	・保護者面談の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者に事故防止マニュアル等の周知ができていない。	・事故防止マニュアル等の周知方法。	・保護者が分かりやすいように掲示する。
2	・職員の勤務体制が異なるため、共通理解するまでに時間を要する。	・会議の持ち方と時間の捻出。	・周知事項は全て書面で提示する。 ・定期的に全体会議を実施する。 ・業務時間内で時間の捻出を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 さくらんぼ（児童発達支援）

公表日 令和7年2月3日

利用児童数 32名

回収数 24名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1			・人数に応じて部屋を変える等、適切なスペースが確保されている。	・今後も活動は、お子さんの人数や活動内容を考慮しながら少人数でグループ活動が実施できるよう努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1				・今後も安定した人員配置が継続できるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3			・活動日のメンバーや職員等、プログラムが写真等で示され分かりやすい。	・今後もお子さん達が見通しを持って活動できるよう、お子さんの年齢や特性に応じた環境作りに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1				・今後も清潔で快適な生活空間が提供できるよう努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	1	1		・今後もお子さんの特性を理解し支援に努めます。また、職員研修等を通じて資質向上を図ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					・今後もガイドラインに則した支援プログラムが提供できるよう努めます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1				・今後も定期的に保護者面談を実施し、お子さんの実態に合わせた具体的な支援計画を作成するよう努めます。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			3		・今後もガイドラインに則した支援内容が提供できるよう努めます。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	22			2		・今後も個別支援計画に沿った支援を実施するよう努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	4	1	2	・発達に応じて様々なプログラムが用意されている。	・今後もお子さん達が様々な経験を通して持てる力が伸ばせるよう支援に努めます。
保 護 者 へ	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	8	8	2		・利用されているお子さんはすでに所属園等があります。そのため、事業所として交流する機会は設けていません。今後、保護者の方の意向も確認しながら検討します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					・今後も具体的に丁寧な説明を心掛けていきます。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				・面談等で丁寧に説明を受けている。	・今後も保護者面談等で、具体的に分かりやすい説明を心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1		1		・今後もペアレントトレーニングの開催や情報提供できる場の設定に努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	4		2		・今後も保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、保護者のニーズにできる限り迅速に答えられるよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2				・今後も定期的に保護者面談を実施し、保護者の悩みにはできる限り早く対応し不安なく利用できるよう努めます。
保 護 者 へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1		1	・いつも親の気持ちに寄り添い声をかけてくれる。	・今後も保護者の気持ちに寄り添いながら支援に努めます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	9	2	8		・今後も保護者のご意見を伺いながら、保護者交流会の回数・時間が拡大できるよう努めます。また、ごきょうだいが参加できる行事等も拡大できるよう努めます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	4		4		・今後も保護者の方とのコミュニケーションを大切に、お子さんや保護者のニーズにできる限り迅速に答えられるよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	3		2		・今後もお子さん達や保護者との意思疎通を図りながら、一人一人を大切にした支援に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	4	2	8		・今後もメール等を活用し情報発信に努めます。ホームページで公表される自己評価結果については周知が図れるよう努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1		1		・今後も個人情報の取り扱いには慎重に行っていきます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3		6	・活動の部屋の中にマニュアルが掲示されており、あまり見ることはない。	・今後マニュアルの掲示等、周知が図れるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	4		7		・今後、避難訓練についてはできる限り実施できるよう努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		4		・今後もお子さん達の安全確保を行った上での支援に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		6		・今後も事故等が発生した際は、迅速な対応に努めます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1			・細やかに対応してもらい安心して通えている。	・今後もお子さんや保護者の方に安心して通所していただけるよう支援に努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	6			・毎回楽しみにしています。	・今後もお子さん達が楽しめる活動の実施ができるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2			・iPadのphoto、movie等もう少しよく見たいです。	・今後も保護者の方に寄り添い、お子さん達の達成感を大切にしながら支援に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月3日				
さくらんぼ（児童発達支援）						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・プログラム内容により部屋を変える等の対応をしている。 ・出席人数、活動内容を考慮しスペースを使い分けしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・基準を満たした中で、職員の休務等にも対応できている。	・個別対応が必要なこどもへの職員配置。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・こども達だけでなく職員に対しても分かりやすい環境設定をしている。 ・絵カード等を用いて分かりやすく伝える工夫をしている。 ・活動に使用する部屋はバリアフリーになっている。 ・環境の配慮をしている。 ・いつも同じ環境が提供できるように構造化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・部屋は日当たりもよく床には絨毯を敷いている。 ・週末にはスチームクリーナーをし清潔を保っている。 ・毎日清掃、遊具や教材の消毒。 ・季節に応じ、空気清浄機や加湿器を設置している。 ・すっきりとシンプルな空間になっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・同じ部屋の中でも、必要に応じて衝立等で空間を分けている。 ・必要に応じ、衝立等で個別の空間や少人数の空間を作りやすい環境にしている。 ・活動によって部屋を変更している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・職員一人一人が個人目標を作成し、自己評価を行った上で所属長との面談が実施されている。 ・支援の目標と振り返りについては、療育前の会議時に行っている。 ・常勤の職員が中心となり取り組んでいる。	・勤務体制が異なるため、職員の参画については工夫が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・アンケートや評価表を保護者向けに行っている。 ・評価結果が提示され、全職員で周知できている。 ・保護者の意向は確認できている。 ・保護者の意見を基に改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・全体会議や日々の打合せ等で意見を述べている。 ・定期的な全体会議と日常の打合せ等で、個々の意見を述べそれに対する手立てを行っている。	・勤務体制が異なるため、職員間での時間差が生じる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・令和2年2月に第三者評価を受審しました。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修案内が多く受講できる機会が多い。 ・必要と思われる研修の告知がある。 ・全職員向けの研修会を定期的に実施している。	・研修受講後、フィードバックする時間の確保。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・職員全体で意見交換をしながら作成している。 ・プログラム等は公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	4		・定期的に保護者面談を実施し、ニーズと課題を整理して個別支援計画を作成している。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・職員全体で共通理解している。 ・担当者の見解も反映されている。 ・共通理解が図れるよう、日頃から情報交換を行っている。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・個別支援計画を共有している。 ・個別支援計画を意識し支援を行っている。 ・子どもの日々の様子を記録している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・フォーマルなアセスメントは個人ファイルで確認できる。 ・インフォーマルなアセスメントは職員で基準を設け確認している。	・インフォーマルアセスメントの項目を明確にする。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・常にガイドラインが確認できるようにしている。 ・ガイドラインに基づいて活動の項目を相談している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・職員全体で立案している。	・勤務体制が異なるため、会議時間捻出の工夫が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・こどもの様子を日々観察し、楽しめる内容を考えている。 ・見通しを持ちながら必要なプログラムを考えている。 ・個別支援計画を念頭に考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4		・集団活動の中で個別対応も実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・事前に確認している。 ・支援開始前の打合せで支援内容・役割分担等を最終確認している。	・時間の使い方の工夫が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・支援終了後に振り返りを実施している。 ・当日の振り返りが難しい場合、書面で残している。	・職員の勤務時間に沿った時間の使い方の工夫が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日々、支援内容やこどもの様子を記録している。 ・個人記録は職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画を見直している。 ・保護者面談を定期的に実施している。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・児童発達支援管理責任者が関係機関と連携している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		・併設の児童発達支援センターとは必要に応じて情報交換を行っている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	・利用児には所属園があるため交流は実施していない。	・今後必要があれば検討。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・療育終了後に毎回振り返りを実施している。 ・振り返り時には、活動目標・当日の様子を動画を見ていただきながら伝えている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・ペアレントトレーニングは実施している。	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	32	【 児発事業所・児発センターのみ 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・利用児が所属する保育所やこども園、幼稚園等とは必要に応じて連携している。	
	33	【 児発事業所・児発センターのみ 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・必要に応じて情報共有を図っている。	
	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	36	【 児発センターのみ 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 放デイのみ 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。				
	38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	【 放デイのみ 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	【 放デイのみ 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。				
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・利用開始時や保護者面談の中で説明を実施している。	
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・定期的に保護者面談の中で実施している。	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・保護者面談の中で実施している。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的に保護者面談の中で実施している。 ・必要があれば随時行っている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・定期的に保護者交流会を実施している。 ・定期的にきょうだいの参加できる行事を実施している。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・苦情受付窓口・苦情解決責任者を配置している。 ・重要事項説明書で保護者に周知を図っている。 ・苦情には迅速に対応している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・活動内容や目標、行事予定等についてはメール送信している。 ・情報提供や連絡等についてもメールを活用している。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報の使用にあたっては、保護者の同意を得ている。 ・個人情報が入ったパソコンや個人ファイルは、利用時間以外は鍵のかかるロッカーで保管している。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・こどもからの発信を受け止め、個々に応じた方法で意思疎通を図っている。 ・保護者とは、事業所内での相談や電話やメール等で意思疎通を図っている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・地域住民の方の行事参加は行っていない。 ・施設見学等は受け入れている。	

	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルは策定している。 ・保護者に対してマニュアルの周知が徹底できていない。	・保護者への周知について工夫が必要。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・BCPは策定している。 ・午前グループの方・職員については併設の児童発達支援センターと一緒に訓練を実施している。 ・各部屋に防災頭巾を設置している。	・午後グループの方の実施方法について検討。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・事前に保護者に確認している。 ・必要なのは個人記録に記入する等、職員間で情報共有している。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	・食事の提供は行っていない。 ・アレルギーに関しては職員間で情報共有している。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・研修等は定期的に実施している。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・保護者面談等を通じて実施している。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハット・事故報告書は起こった時の原因、発生時の対応、今後の対応等を記録し職員間で共有している。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止委員会を設置している。 ・虐待防止マニュアルを作成している。 ・定期的に研修会を実施している。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・身体拘束適正化委員会を設置している。 ・身体拘束マニュアルを作成している。 ・個別支援計画の中に身体拘束に関する事項を明記し、保護者に同意をいただいた上で支援を実施している。 ・定期的に研修会を実施している。	

事業所名		さくらんぼ（児童発達支援）				支援プログラム		作成日	令和7年	2月	3日
法人（事業所）理念		（事業所理念） ○利用児が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、当該利用児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な療育を行うものとします。									
支援方針		○お子さんがそれぞれの所属先で自信を持って通えるよう、「できること」を増やしていけるように支援していきます。また地域で安定した生活が送れるよう、一緒に考え支援していきます。									
営業時間		9時	00分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・来所時、健康状態を確認します。 ・基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や荷物の管理ができるように練習します。 ・年齢に応じた環境調整をします。（視覚的なスケジュール・手順書等） ・小集団での支援に努めます。									
	運動・感覚	・日常生活に必要な姿勢保持の向上を図ります。 ・粗大運動（サーキット・トランポリン・運動遊び等）を通して体の使い方の練習をします。 ・発達段階に応じた道具操作（はさみ等）の練習を通して手先の巧緻性を高めます。									
	認知・行動	・マッチング課題やカード遊び等様々な課題を通して認知発達を促します。 ・視覚支援を活用することで自主的に見通しを持って行動できるように促します。 ・自分の得意なことや苦手なことを知り自己理解につなげていくよう促します。									
	言語 コミュニケーション	・自分の要求を伝える、手伝って欲しい時に援助を求めるなど、場面に沿った伝達ができるよう促します。 ・お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。 ・集団遊びやルール遊びを通してやりとりの練習をします。 ・お子さんのニーズに応じた机上課題を設定し、読み書き向上の支援を行います。									
	人間関係 社会性	・集団遊びの中で友達との関わりが楽しめるよう促します。 ・グループ活動や集団遊びを通して、話を聞く・ルールを守る・順番を待つ・友達と協力する等、集団で生活していくために必要なスキルを身につける機会を作ります。 ・実際の場面を通して友達との関わり方を練習します。									
家族支援		・保護者面談を通して、家庭や所属先での様子を聞き取り情報交換をします。また、相談事や心配事への助言を行います。 ・ペアレントトレーニングを通して、お子さんの行動理解や対応に方法について支援します。 ・家族（ごきょうだい含む）で参加できる活動を実施します。					移行支援		・今後の進路先について必要な情報提供をします。また、必要に応じて連携していきます。		
地域支援・地域連携		・お子さんが所属する保育所・幼稚園・こども園等と、必要があれば情報共有し連携を図ります。					職員の質の向上		・外部研修の受講・事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上に努めます。		
主な行事等		季節の行事・お誕生日会・親子制作活動（ごきょうだい含む）・社会体験学習（買い物学習等） ペアレントトレーニング・保護者交流会									